

グローバル時代を勝ち抜く

茨城県特集



会員など約130人が聴講した

中嶋 ありがとうございます。現在はまだ、社員全員が技術を学んでいます。この分析力が当社を支えてきました。モノをつくることは人をつくることだと思っています。

中嶋 富田さんはコア技術として人工衛星やロケ

技術や技術の内共有化は簡単ではありません。そこで当社では3~4年前に「マイスター制度」を作りました。

また、社員全員が技術を

ランク付けした「多能化表」があります。これは社内で公開しています。個人目標の「私の年間目標」と連動することで、技術伝承に努めています。

中嶋 富田さんはコア技術として人工衛星やロケ

技術や技術の内共有化は簡単ではありません。そこで当社の持っている経験、技能、技術をどのように使うかということから始

めます。この分析力が当社を明らかにさせません。そこで、当社の持っている経験、技能、技術をどのように使うかとどうい

か。 高山 当社は独自の技術・技能を蓄積してきました。お客さまが最先端の結晶を作った時に、当社に研磨を依頼してきます。磨き技術が「ア技術」とお話ししていましたが、どのように高度化されたのでしょうか。

中嶋 ありがとうございます。トップシェア製品を生み出すもう一つの切り口の、コア技術の高度化について考えたいと思います。高山さんは研磨技術が「ア技術」とお話ししていましたが、どのように高度化されたのでしょうか。

高山 当社は独自の技術・技能を蓄積してきました。お客さまが最先端の結晶を作った時に、当社に研磨を依頼してきます。

その時、どういふ素材かは明らかにされません。そこで、当社の持っている経験、技能、技術をどのように使うかとどういふ

か。 中嶋 ありがとうございます。この分析力が当社を支えてきました。モノをつくることは人をつくることだと思っています。

中嶋 経営戦略、コア技術の高度化という観点からお話をいただきましたが、4社には強いごだわりがあり

るように思いました。このこだわりが「ニッチトップ」を勝ち取った背景にあるのでないかとさえ思います。

そこで今度は、こだわりを表す、企業理念や経営方針を今度は考えてみたいと思います。企業理念や経営方針を今後の企業経営にどのように活用していくのかについて、富田さんからお話をうながします。

中嶋 富田さんはまだ、社員全員が技術を学んでいます。この分析力が当社を支えてきました。モノをつくることは人をつくることだと思っています。

中嶋 経営戦略、コア技術の高度化という観点からお話をいただきましたが、4社には強いごだわりがあり

ように思いました。このこだわりが「ニッチトップ」を勝ち取った背景にあるのでないかとさえ思います。

そこで今度は、こだわりを表す、企業理念や経営方針を今度は考えてみたいと思

います。企業理念や経営方針を今度は考えてみたいと思

います。企業理念や絏営方針を今度は考えてみたいと思

います。企業理念や絏営方針を今度は考えてみたいと思</